

平成20年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,792	2,792	0	
施設整備費補助金	139	139	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	20	26	6	(注1)
国立大学財務・経営センタ －施設費交付金	15	15	0	
自己収入	286	272	14	
授業料、入学料及び検定 料収入	128	120	8	(注2)
附属病院収入	106	105	1	(注3)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	52	47	5	(注4)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	43	68	25	(注5)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	5	5	(注6)
計	3,295	3,317	22	
支出				
業務費	2,325	2,225	100	(注7)
教育研究経費	2,221	2,141	80	
診療経費	104	84	20	
一般管理費	751	661	90	(注7)
施設整備費	154	154	0	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	20	26	6	(注8)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	43	57	14	(注9)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	2	2	0	
国立大学財務・経営センタ －施設費納付金	0	0	0	
計	3,295	3,125	170	
収入 - 支出	0	192	192	

予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として再チャレンジ支援経費による授業料免除枠が拡大したこと等により、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、主として患者数が減少したこと等により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として科学研究費補助金の間接経費の一部を研究分担者に配分したこと等により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託(共同)研究、受託事業及び寄附金の獲得に努め、いずれも当初の予定より大幅に獲得することが出来たため、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、当初予定していなかった新学生寄宿舍の建設費用不足額に充当したため、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注7) 業務費及び一般管理費については、教育研究経費、診療経費及び一般管理費のいずれにおいても経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が100百万円少額となっています。
- (注8) 補助金等については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。